

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和7年9月5日

施設名	香北青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさとみらい	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和6年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰りだよ！親子忍者大会外伝～香北のかいぞく～ ・忍者大会 ・日帰りだよ！親子でピザ職人 ・日帰りだよ！ちびっこ忍ジャー ・日帰りだよ！親子で麵職人 ・日帰りだよ！プチ!!親子避難生活体験 ・プチ!!親子避難生活体験 ・めざせ!!やなせたかし先生 ・青年リーダー研修 		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員127名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km 		
職員体制	<p>【R6当初】</p> <p>職員:所長1名 会計総務部長1名 指導主任1名 指導員3名 調理主任1名 調理員2名 警備宿直3名 合計:12名</p>		

2 収支の状況

(単位:円)

		R05年度(決算)	R06年度(決算)	R07年度(予算)
収入	県支出金	42,660,000	42,670,000	45,278,000
	事業費収入	466,945	533,627	594,000
	収入計(a)	43,126,945	43,203,627	45,872,000
支出	事業費	1,181,496	1,303,711	1,430,000
	管理運営費	13,517,521	12,345,599	11,915,000
	人件費	24,507,314	26,283,800	28,757,000
	消費税	3,920,614	3,927,582	3,770,000
	支出計(b)	43,126,945	43,860,692	45,872,000
収支差額(a)－(b)		0	△ 657,065	0
使用料収入		1,353,510	1,658,363	1,988,000

3 利用実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
利用者数	3,927	4,664	5,381	9,596	11,670	7,048
利用団体数	67	80	102	141	156	109
宿泊者数	1,032	1,343	1,774	3,899	5,038	2,617
宿泊稼働率	7.8%	9.8%	12.6%	19.6%	24.7%	14.9%

※宿泊稼働率…宿泊利用室数/宿泊可能室数(室数×日数)

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数、利用宿泊者数ともに目標数を大幅に達成している。 ・学校への訪問やチラシ配布等の取組が利用団体数の増加に繋がっている。 ・同業他施設が新型コロナウイルス感染症拡大後の利用者数の伸び悩みに苦しんでいる中、着実に利用者数を伸ばしていることは大いに評価できる。施設への信頼の表れと思われる。 ・学校との連携を密にし、着実に利用者を確保するとともに、学校教育における体験活動の受け皿として、大いにその存在価値を高めている。 ・実施主催事業をよく分析し、利用者ニーズを的確に踏まえた事業展開により利用者を確実につかんでいる。 ・利用者数が近年5カ年の中で最も多くなっている。利用者拡大のために県内の各学校に郵送などで案内を発信した成果が実を結んだ結果だと思われる。 ・「忍者大会」や「ピザづくり体験」のような子どもとその家族から人気を集める企画を計画し実践していることで参加の継続や参加者数の拡大につながっている。 ・これまで伝統的に継続してきた事業だけでなく、新たに事業を考案する姿勢は評価できる。 ・既存のプログラムに新たなオプションを組み込み、プログラム全体をバージョンアップしていることは評価できる。 ・障がいを持つ児童・生徒に対応するために研修に参加し研鑽を積む取組は評価できる。 ・運営主体が変わっても、引き続き充実した事業内容の構築に向けて、工夫を続けて欲しい。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等からの利用者ニーズの的確な把握、数多くの打合せの実施などがアンケート結果のポイントアップ及び利用者数増加に結びついている。 ・食事に関して地産地消を意識するとともに、地域の観光資源を上手く活用する等効果的な対応ができています。 ・熱中症対策や害虫対策も、基本的な事項はクリアできている。 ・施設の規模に応じた公立学校への対応など、施設の特徴や地域の特性を生かした工夫がなされている。 ・参加者アンケートをとる、参加者とコミュニケーションを図ってニーズをつかむ、職員の指導力向上のための研修会参加という施設そのものと企画のクオリティを高めるための努力を図っている。 ・南海トラフを想定した取組は評価できる。

③施設の運営について	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県のモニタリングシートに沿ったセルフモニタリングシートを作成し、自己点検を行う等不断の業務運営改善の取組が見られることは素晴らしい。 ・安心できる環境づくりに取り組み、その目標に沿った運営がなされており大いに評価できる。 ・決められた予算内で、コスト感覚を持って運営できている。 ・食品衛生に関する注意をはらいマニュアルを制定している、野外活動での事故防止策を講じる、など安全管理について十分な留意を図っている。
④利用実績	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が1万人台、宿泊者数も5千人台に乗って、拡大の流れにつながっている。 ・利用者数、利用団体数、宿泊者数、宿泊稼働率のいずれも前年度を上回っていることは評価に値する。
⑤収支の状況	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね問題ない。管理運営費についてが、縮減が図られており、効率的な運営の結果であると思われ評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支の均衡については支出が約65万円オーバーしている。人件費の予算オーバーが響いている。
<p>総合評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書内容の目標を上回るよう、努力と工夫の跡が見受けられる。 ・様々な努力の結果が、利用者の満足度に繋がり利用者数増加に結びついている。 ・指定管理者としての最終年も施設のクオリティを落とすことなく、参加者や宿泊者も近年最大の人数を達成しており、しっかりとした運営の成果と評価する。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。